

おおえ町 議会だより



夢のある
未来へ—



大海牛ぶくちゃん

平成30年第4回定例会
一般会計補正予算
一般質問(全議員が質問)
150号までのあゆみ

●発行 / 大江町議会

●編集 / 議会広報常任委員会

〒990-1101 山形県西村山郡大江町大字左沢882-1

TEL(0237)62-2228 FAX(0237)62-2155



おおえ町・愛(。・3。)/♡ 議長 小野 祐一

町民の皆様には穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は日本列島にとって、豪雨、台風、地震そして猛暑など災害の多い年になりましたが、我が大江町においては大きな災害もなく安堵しているところです。一方、町政においては長年の懸案であった統合保育園「にじいろ保育園」が立派に完成して大江町の幼児教育の拠点になっております。

「町づくりは人づくり」教育のまちを標榜する我が町は、他町に先駆けて町内の小中学校のすべての教室にエアコンを設置して猛暑の夏を乗り切ることができました。

また、大江町議会として町内2ヶ所で議会報告会を開催、町民の皆様への御要望、御意見を集約し、執行部への政策提言として提出し、実現に努力しております。

私達議員一同、本年も明るく住み良い町づくりに頑張ってまいりますので、旧に倍してご指導をお願い申し上げます。

平成三十一年、年頭にあたり、皆様のご繁栄、ご多幸をお祈り申し上げます。



伊藤慎一郎 議員
物事は他人に学ぶことから始まる



結城岩太郎 議員
家内安全、五穀豊稔 身体堅固を祈る



土田 勵一 議員
子どもと 絶景日本一公園を心から愛す



小野 祐一 議員
町づくりは人づくり 教育の町大江町



にしている保育園の子どもたち



大江町は自立する子供をそだて 子供が作る遊び場等の推進を図

児童扶養手当 特別児童扶養手当
いきいき子育て支援事業 ひとり親家庭就業支援事業 多胎児養育支援事業 子育て支援医療
幼稚園バス運行事業補助 ふるさと奨学基金 放課後子ども教室の運営
学校給食支援事業負担金



関野 幸一 議員

トンネルをでて
ふるさと想う 最上橋



毛利登志浩 議員

人々行き交う左沢駅
夏夜空に 大輪の花



安食 幸治 議員

雪が多いが いいところ
いっぱい わが郷土



佐藤 敏春 議員

癒しの清流 奥大江
復活願う 神通峡



菊地 勝秀 議員

つながる気持ちを
みんながもっている町



宇津江雅人 議員

橋山から日の出を拝み
大江が栄えむと

ト感をもって実行せよ!



政策提言書を提出

◎地域医療関係



1. 安心して医療を受けられる体制の整備
2. 医療機関の設置・運営、医師の確保
3. 町民の通院手段の充実

「ここに暮らす喜びをみんなが実感できる町」を掲げる渡邊町長は、総仕上げに向けた締めくくりのスタート年度と位置づけ諸政策に取り組み、として今年度スタートしました。大江町議会は、二元代表制のもと、町民の意思を反映し開かれた議会を目指すため、平成27年3月に議会基本条例を制定しました。

これに基づいて議会報告会時に行った町民との対話や、各種団体との懇談会にて町民の意向を踏まえ、議会として行政運営の更なる充実を求めるため政策提言を提出しました。

町民の要望は **スピー**

今回の提言

- 提言 1. 地域医療体制の充実と通院患者の足の確保
- 2. 道路交通網の整備促進
- 3. 左沢市街地の冬期間排雪の確保と水路整備
- 4. 空き家対策の政策促進
- 5. デマンドタクシー運行体制の充実
- 6. 集落活性化支援交付金の継続
- 7. JR 左沢線の利便性向上
- 8. 山形県立左沢高等学校の充実

◎道路関係



2. 町道中学校下夕原線の整備促進



1. 町道藤田堂屋敷線の早期完成



3. 町道十八才旧道線の早期道路改良



4. 町道小漆川巨海院線の道路改良



5. 県道左沢浮島線の道路改良

◎デマンドタクシー関係



町民の日常生活を支える交通手段の確保、高齢者の免許返納を推進するためにも、デマンドタクシーを本町全地区に拡充することを要望する。

◎左沢市街地水路関係



豊富な水流の北堰



内町通りの雪の流せる側溝

せせらぎの音が聞こえ、清き水が流れる水路整備と、地域住民の念願である、雪の流せる側溝の整備を要望する。

◎空き家関係



危険な廃屋



利用された空き家

利用可能な空き家は資源と捉え、移住・定住の住居として活用し、危険な廃屋に対しては、勧告、命令、代執行を行うことを強く要望する。

◎左沢線関係



JR左沢線を利用して医療機関に受診される人が増えている。しかし、山形発・寒河江止まりが多く、これを解消するよう強く要望する。

◎集落交付金関係



深沢公民館



富沢公民館

集落活性化支援交付金は集落を維持・活性化していくうえでとても有効である。今後も集落崩壊を防止するためにも、継続と充実を望む。

◎左沢高校関係



総合学科としての魅力ある学校づくりのための支援を要望する。

詳しい内容は大江町議会ホームページをご覧ください。

町の予算に切り込む

3670万円を補正で追加

平成30年度補正予算

一般会計補正予算 (第4号)

平成30年度一般会計補正予算(第4号)は、事業実施に伴う精査による増減、町有施設整備基金への追加によるものです。
歳入歳出にそれぞれに3670万円を追加し、補正後の予算総額50億2950万円とするものです。
採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決しました。

主な歳入

灯油購入費助成事業費
〔県補助金〕 57万5千円
一般寄付金(追加)

主な歳出

町有施設整備基金(追加) 6000万円
地域おこし協力隊賃金(減) △320万円
灯油等購入費助成事業費 115万円
医療費助成システム改修委託料 70万円
雇用促進助成金(追加) 50万円
除雪機械等購入費(減) △746万5千円
小学校施設整備等工事費(追加) 190万9千円

質疑

地域おこし 協力隊とは

伊藤議員 地域おこし協力隊とはどのような契約をしているのか。また、320万円減の理由は。

嘱状を渡してお願いをしています。また、当初は、5名の設置を予定していましたが、現在は4名の設置です。募集していますが応募がなく、不用額を精査したものです。

政策推進課長 協力隊の方は、町の臨時職員と同じ扱いですが、委

毛利議員 協力隊の身分は臨時雇いとなつているが、家賃なども

もろが企画費から出ている。他の町では、賃金の中に経費分を入れていますが、町ではどのように考えているのか。

政策推進課長

町で制度を決めています。経費に関しては特別交付税があるので、国の補助を

毛利議員 公的と私的のすみわけをしていると言っているが、経費についてきちんと管理しているのか。

政策推進課長

協力隊を信用して任せています。



願いをたくして



真剣なまなざし

安心な給食へ

左沢小学校で自校炊飯始まる

左沢小 来年度から自校炊飯で温かいご飯食べられます

宇津江議員 施設整備等工事費190万円追加の内容は。

教育文化課長 左沢小学校の給食室内の老朽化したボイラーを撤去し、新たに外へ設置するための工事です。

宇津江議員 施設用備品購入費436万円の追加は。

教育文化課長 左沢小学校で、来年度から自校完全給食を実施するため、ガス式炊飯器や洗米器等と消火設備を購入します。

佐藤議員 左沢小学校の自校炊飯の調理に関わる人件費について、臨時雇いと聞いたが、働く作業時間は。



自校完全給食の本郷東小での給食の様子

量設計等委託料の減額の理由は。

建設水道課長

追加については、町道藤田堂屋敷線の3工区の説明会で全面通行止めにしないでもらいたいと要望があり、仮設道路を検討するためです。減額は、

教育文化課長 現在は正職員2名、臨時職員2名で対応していますが、炊飯をすればもう1名入れたい。炊飯だけではなく給食全般の仕事なので1日となる予定です。

仮設道路を検討します

菊地議員 道路新設改良費測量設計等委託料の追加と住宅管理費測

町のお祝い金は平等に

安食議員 雇用促進助成金の追加の理由と、今年度の実績は。

政策推進課長 事業所が6件、9名と新規学卒者6名の方になります。

関野議員 町内で事業

をしている方の息子さんが父親の会社に入社したが、この制度の対象にならないと言われた。町内に就職した同級生がお祝い金をもらえて、このような息子さんがもらえないのは、なぜか。

政策推進課長 補助制

度上、商工業の家業を継ぐ場合は事業継承になるので該当しません。新たな制度、枠組みを考え直してやっていきたいと考えています。

基金積立の内容は

毛利議員 地方債の補正が5300万円減額となっているが、今年度の起債発行見込み額は。

また、全体的に減額補正となっている中で、町有施設基金に6000万円を追加計上しているが、その説明を。

総務課長 今年度の起債発行額は、約4億5000万円と見込んで

おります。町有施設については、老朽化が進んでいる施設が見受けられ、今後の修繕、改修が必要となることから、財源確保のため追加するものです。



古くなった温泉施設

新たに富沢地区が加わった

中山間地域直接支払交付金制度

里山の農地を維持管理するために必要な制度

中山間地域の 取り組みは

結城議員 中山間地域
直接支払交付金の追加
は、どの地区か。また、
面積と地目は。

農林課長 今回ガイド
ラインが変更となり富沢
地区が該当となった。地
目は田で面積は約14 ha
です。

結城議員 共同取り組
みの活動内容はどんな
ものか。また、これによ
る全体の面積はどの程
度になるのか。

農林課長 草刈りや水
路の維持管理で、総面積
360 haとなります。

永住してね 新規就農者住宅

菊地議員 新規就農者
住宅について、住宅使用
料10万円追加の理由と、

財産購入費の用地費の
減額100万円の理由
は。

農林課長 住宅使用料
に関しては、退居予定が
2カ月伸びたためです。
用地費については、購入
候補地が数か所あったた
め予算を組んでいまし
たが、町有地に建設する
ことにしたため不用に
なったものです。

町内の皆さんの あたたかい気持ち を、有効に使わ せてもらいます

宇津江議員 寄附金1
46万5千円の内容と
は。また、寄附をして
いただいた方を町内の祭
り、イベントに招待して
はどうか。

総務課長 件数は4件
で、個人の方から2件1



三郷地区の新規就農者住宅

20万円、会社
等では、マルハニ
チロ大江工場さ
んから9月の秋
まつりの売上金
として10万円、
山形新聞左沢専
売所さんから11
月のチャリティー
コンサートの売上
金として16万6
千円いただきました。
夏まつりなど
への招待に関し
ては席数もあり
考えておりませ
ん。



マルハニチロさんのチャリティー売店



山新左沢専売所さんの
チャリティーコンサートより

**国民健康保険
特別会計補正予算
(第3号)**

歳入歳出それぞれに5098万7千円を追加し、補正後の予算総額を8億8728万3千円とするものです。

質疑

結城議員 後発医薬品差額通知作成委託料の追加について、この通知を発行することで、どのくらいの効果が出るのか。



税務町民課長 町の国保の場合では50万円ほど医療費が軽減され、患者負担はその3割相

当分の15万円位が安くなる計算になります。

**介護保険特別会計
補正予算(第1号)**

歳入歳出それぞれに8784万4千円を追加し、補正後の予算総額を11億734万4千円とするものです。

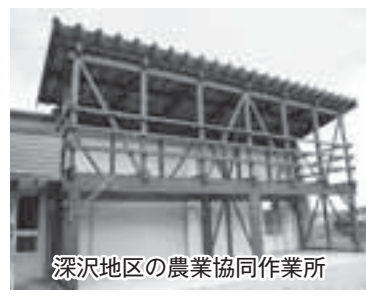
**宅地造成事業
特別会計補正予算
(第1号)**

歳入歳出それぞれから300万円を減額し、補正後の予算総額を5820万円とするものです。

**農業共同作業所
条例の制定**

農業者の高齢化等に伴い、担い手不足が深刻化している中で、大江町就農研修生受入協

議会(OSINの会)の積極的な取組みやサポートが受け入れられ、新規に就農を目指す方が首都圏などから本町に移住し就農している状況にあります。町としても、そういった取り組みなどに対しさまざまな支援をおこない、新規就農者が安心して農業に取り組める環境を整えていくことが重要であることから、次世代を担う意欲的な農業者の農作業環境の向上を図ることを目的に、三郷地区の旧ひばり保育園の一部を改修して大江町農業共同作業所を設置するものです。



深沢地区の農業共同作業所

諸般の報告

**西村山広域行政事務
組合平成30年度
第2回定例会**

平成30年第2回定例会が寒河江市議場で開催された。報告第1号では、損害賠償の専決処分についての報告があった。クリーンセンター内で、ごみ収集車がごみ用クレーン車に接触、過失割合5割に相当する7万3089円を支払うこととした。

その後、平成29年度一般会計決算の認定がおこなわれ、歳入は14億6861万6107円、歳出は14億5677万7868円であった。

次に、クリーンセンター、斎場特別会計決算の認定がおこなわれ、歳入が8億3524万4500円、歳出は8億505万6327円

**町長からの
行政報告**

**平成31年4月採用
試験の選考結果報告**

一般行政職、土木行政職、保健師及び社会人経験の上級行政と上級土木の募集に対し、計17人の申込みがあり、一次試験で学力試験と性格診断検査をおこなった結果、11人を合格者とした。

**西村山広域行政事務
組合議会運営委員会
視察研修**

11月14日、南陽消防署に視察に行った。平成29年3月に竣工した新しい施設で、職員数は2市2町で218名と寒河江・西村山より100名ほど多い規模であった。

消防車両は、高規格救急自動車2台を含む9台の保有で、施設は、事務室・食堂・待機室等充実していた。消防車両庫の強制排気システムの導入など多くのことを学んできた。

その後、初級行政に内定した2人から辞退の申出があり、現在、4名の採用に向け手続き中である。

12月定例会提出議案及び審議結果

議案番号	件名と主な内容	議決結果	掲載頁
議第75号	大江町農業共同作業所条例の制定について	可決 全員賛成	P11
議第76号	大江町医療給付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全員賛成	
議第77号	平成30年度大江町一般会計補正予算（第4号） 3670万円追加	可決 全員賛成	P 8
議第78号	平成30年度大江町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 5098万7千円追加	可決 全員賛成	P11
議第79号	平成30年度大江町介護保険特別会計補正予算（第1号） 8784万4千円追加	可決 全員賛成	P11
議第80号	平成30年度大江町宅地造成事業特別会計補正予算（第1号） 300万円減額	可決 全員賛成	P11
請願第3号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書の提出について 請願者 一般社団法人山形県ハイヤー協会 会長 石川康夫 全国自動車交通労働組合連合会 山形地方本部 執行委員長 遠藤栄二	採択 全員賛成	
請願第4号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る請願 請願者 山形県教職員組合西北村山地区支部 支部長 逸見研	採択 全員賛成	
発議第2号	ライドシェアの導入に反対し、タクシー事業の維持・確保を求める意見書の提出について 提案者 結城岩太郎 賛成者 土田勳一、関野幸一、菊地勝秀	可決 全員賛成	
発議第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について 提案者 結城岩太郎 賛成者 土田勳一、関野幸一、菊地勝秀	可決 全員賛成	

活動報告

意見の交換

平成30年11月26日（月）、大江町、亶理町両町議会議員交流会が、当町の柳川温泉に於いて行われました。二年に一回交互に町を訪れ、議員の交流をとおして、大江町・亶理町との親睦を深め、亶理町議員の皆さんと、町づくりや多くの課題について、様々な意見の交換をしながら親睦を深めました。



宮城県亶理町の議員と

温泉施設の今後の展望

大江町産業振興公社役員との意見交換会が10月2日、大江町役場大会議室で、おこなわれました。会議では、公社の受け持つ、町の指定管理施設の状況説明、今後の展望、課題等を話し合いました。大江町産業振興公社は、株式会社になっているが、一般企業と違い利益追求ではなく、社会福祉と町民のサービスを目的に日々、営業している。そのため、温泉施設の深刻な老朽化問題。競合する、近隣市町村の温泉施設との比較。最近話題の原油高騰による、経費増になることへの不安、それを価格に置き換えることが出来ない。その問題少しでも補うため、バンケット（宴会、大きな会議等）部分の強

化、営業時間の変更等に力を入れたいと説明を聞きました。施設の老朽化による修繕料増加による町の対応。今後の公共施設の方向性。各施設の指定管理の方向性等が話し合われました。各施設とも、利用者増、収益増と現在、なっておりますが、町民の皆さまの益々の施設利用が肝心だと思えます。



テルマ柏陵健康温泉館

一般質問



全員が町の課題に質問

- | | |
|-------------|---------------------------------------|
| 1 結城 岩太郎 議員 | 共有林の税金は職員が集めるべきではないか |
| 2 土田 勵一 議員 | 町内学校の自校完全給食を |
| 3 関野 幸一 議員 | 町内に流雪溝を整備しては |
| 4 佐藤 敏春 議員 | 災害の緊急対策は最優先に!! |
| 5 安食 幸治 議員 | 冬期間の水路利用者の受益者負担は
町制施行60周年記念行事は |
| 6 伊藤 慎一郎 議員 | 友好都市交流事業を前に進めては |
| 7 毛利 登志浩 議員 | 平成31年度の予算編成の考えは
史跡左沢楯山城の発掘状況と整備計画は |
| 8 宇津江 雅人 議員 | 平成31年度 町の諸行事の取り組みについて |
| 9 菊地 勝秀 議員 | スーパー公務員を育ててください!! |

一般質問とは

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることをいいます。この一般質問により、執行機関の政治姿勢を明らかにするとともに、政治責任を明確にさせます。「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。内容を要約して登壇順（質問順）にお知らせします。

（本会議場での持ち時間は1人60分）

共有林の税金は職員が集めるべきではないか

税務町民課長／所有者課税主義がとられており、これまで通り代表者が集めて納税するようご理解を



結城 岩太郎 議員

共有林の税金徴収について

質問 大江町の共有林の数と面積、固定資産税はいくらか。収入未済額や不納欠損額などはでていないか伺う。

町長 共有林の数は1226筆、面積は1910ha、私有林の約30%で、税額は約250万円、不納欠損額は出ておりません。

質問 小新共有林の固定資産税の集金は大変な苦労がある。そのような実態をどのように受けとめるか伺う。

税務町民課長 税の収納にご苦労をおかけしていることは承知しており、

大変感謝しております。平成5年に共有地の中にある林道が町道小新吉川線に格上げされたが、まだ個人名義になっている。早急に町の名義に登録すべきではないか。

町長 町道の所有権変更登記については、昭和56年に林道小新線として整備され、その後、平成5年12月に町道小新吉川線と認定されました。

町道を新設または改築する場合は用地取得



税金徴収は町の仕事と思うが？

を含めて実施しますが、町道小新吉川線の場合には新設や改築とは異なり、必ずしも用地取得が前提となっていないことから、今日まで町道内に民地が存在したまま経過してきたものと推察されます。今後、町が所有権を取得するためには多額の予算と時間を費やすことになり、消極的にならざるを得ないというのが率直な考えではありませんが、望ましい姿とは言えないことも事実であり、今後検討を進めなければと考えております。

質問 少子高齢化に伴い相続人がいなかったり相続放棄されたりした不動産について、その所有権と管理責任はどのようになるか伺う。

町長 相続放棄された財産については、相続財産管理人を選任する必要があり、相続財



町道小新吉川線 町の名義に登録を!

産管理人は最終的に財産を「国庫」に帰属させる役割を担うこととなります。

質問 共有林の税徴収は代表者が集めるのではなく、自治体の責任において、職員が集めるのが当然と考えるが伺う。

税務町民課長 共有地に係る税の個別徴収等については、原則として「所有者課税主義」がとられており、共有林

は個人や法人と同じく共有者等の全体をもってひとつの納税義務者となり、連帯して納付する義務を負うこととなっております。ご理解をお願いいたします。

町長 共有林の税徴収は「代表者が集めて納税しなければならぬ」という法律はありませんので町の職員が徴収できるよう提案を申し上げ質問を終わります。



土田 勸一 議員

町内学校の自校完全給食を

教育長／左沢小で来年度から実施する

質問

平成30年5月以降、学校給食の米飯に金属片や、虫の死骸等の異物が混入する事態が相次ぎ、衛生管理の面で問題視されている。左沢小学校の米飯については、大江町教育委員会は公益財団法人山形県学校給食会と契約を結び県学校給食会が町外業者に委託している。その業者が炊飯した左沢小学校の米飯から金属片が発見された。町教育委員会は県学校給食会と協議し、別の業者（町外）に変更した。

その対応に対しては評価している。しかし、この度の金属片混入を契機に、町の宝である児童のためにも自校で炊飯する「自校完全給食」にすべきと思ったところである。我が町の学校給食は、左沢小学校の米飯については、県学校給食会と契約を結び、協議のうえ業者（町外）に委託。おかげ



については自校で調理。大江中学校の米飯については、昨年度までは各生徒が持参、今年度からは新たに地元業者と契約を結び委託。おかげ



地元業者と以前から調理の契約を結んで委託している。本郷東小学校については「自校完全給食」である。左沢小学校の炊飯と、大江中学校の炊飯・おかげの調理を委託している。大江中学校についても近い将来を見据え「自校完全給食」を前向きに検討しても良いのではないかと。経費削減や合理化、生徒数が多い

ことが要因か分からないが、「共同調理場（給食センター）」と委託契約を結ぶところが多くなっている。「自校完全給食」を実施するには、調理場増設費、炊飯器購入費、人件費等も必要となるが、自校調理師が自校調理場で炊飯、調理することによって、炊き立ての美味しいご飯、作り立ての美味しいおかげを食べることができる。これが学校給食として最善の形ではないか。当町の学校給食での異物混入は、平成30年5月以降2回目と記憶している。今後とも異物混入はなくならないと思われる。以前と比べ、赤ちゃん、園児、生徒数は減少していることから、この度の金属片混入を契機に、平成31年度から左沢小学校の米飯を、自校調理師が自校調理場で炊飯

する「自校完全給食」にすべきである。教育長。如何か。

警 命と直結する「食」という観点から、大江中生自ら米作りを体験し、栽培した米で給食を贈うことにより完全給食を実現しようとして、今年度から、さがえ西村山農協青年部大江支部の協力を得て、森の宮公園付近の田んぼに、山形95号の米を作付けしました。3月まで給食のごはんとして提供します。また、生徒からネーミングを募集し、今後、大江中生徒が名付けた米が西村山地区のブランド米として販売される予定です。左沢小学校では、安心安全な給食の提供を検討し、自校炊飯が可能か検証した結果、実施可能と判断し、来年4月からの自校炊飯実施に向け進めていきます。

町内に流雪溝を整備しては

町長／流雪溝の整備については、地域の現状を踏まえ検討します



関野 幸一 議員

質問

本町でも、冬期間、家の周りに積もった雪の処理を、どうするかが課題であり悩みです。道路の除雪については、町、町内の企業の努力により格段に良くなっております。しかし、各家庭の排雪や間口除雪に関しては、行政も手が回らないのも事実です。大雪になれば、地区で町に排雪をお願いしたり、個人で業者に頼んだり、と経費の面でも負担になることは町長も分かっていることと思いません。そこで、町内の側溝に雪が流せれば、楽に排雪ができます。ぜひ、町内の側溝を流雪

溝に整備してもらいたいが、町長の考えを伺いたい。

町長

側溝に関しては、これまででも、様々な要望がありました。側溝に、雪を入れて流すことには、御免町通りから川口橋まで側溝の中で雪を溶かす融雪溝を整備していますが、水量の問題や、側溝の大きさなどまだまだ研究の余地があります。

町内の除雪、排雪に関してそれなりに努力はしてきましたが、今後、流雪溝の整備を考えると、水利権、工事の費用、様々な問題をどうクリアするか、町民の意見を聞きながら、できること、できないことを区分けしながら、取り組んでいきます。

町内の子どもたちへの支援は

質問

町内の子どもたちへの支援として、これまで中学3年まで

医療費の無償化、小学校6年生及び中学校全年の給食費無償化、一昨年からいち早く、町内の小中学校にエアコンを整備するなど手厚い支援をしてきた。今後は、高校3年生まで医療費の無償化を拡大できないか町長に伺う。

町長

高校生までこの制度を拡大するのは、子育て支援の完成形と思っています。実施するには多額の費用がかかりますが、慎重に検討した結果、来年度から実施するための準備をしています。来年度からの3年間を実証期間として、その後は町の財政などを考慮し決めていきたいと考えています。

質問

現在、左沢高校生への支援事業として、JR左沢線で通学する場合の定期券の半額を補助しています。このことは別に悪いこ

とはありません。ただ、町内から山形・寒河江・谷地に通学する学生の保護者からは、不満の声が聞こえてきます。大江町の子どもたちが、JR左沢線や山交バスで通学する場合も左沢高校に通学する子供たちと同じく定期の半額補助をするべきと思うが、教育長の考えを伺う。

教員

本町での高等教育充実を図るため、左沢高校の存在は町にとっての重要事項であり、たくさんの生徒さんに来てもらうことは、JR左沢線の利用率の向上にもなっています。本町から他市町に通学する子供たちの支援に対し左沢高校と同じように支援してほしいとの内容につきましては、左沢高校の充実が求められており、先にこちらを支援していくという考えです。質問の主旨をくみ取らせていただければ、町の子供たちが自分の意志でそれぞれの高校に通学することへの支援も尊重すべきですが、町として政策的、総合的な判断も必要なことから、教育長としての答弁はここまでとさせていただきます。

質問

町内に通学する子供たちと、本町に通学する子供のどこが違うのか、同じく支援するべきと思うが、教育委員会だけでは答えられないので今後の課題にさせていただきます。

警長

では答えられないので今後の課題にさせていただきます。

議員のつぶやき

子供は
みな一緒



佐藤 敏春 議員

災害の緊急対策は最優先に!!

町長／各方面との連携で具体的に検討する

質問

平成28年8月30日

17時頃迷走台風

10号が、大船渡に上陸、岩手県小本川の水位は当日昼ごろ1m50cmであった水位が17時頃には2m25cmになり、20時には6m61cm堤防の高さは4m87cmのために大洪水になり甚大な被害をもたらした。市町村支援として、岩泉町には16時47分ホットラインで危機感を伝達、しかし、町長には伝わらなかった。なぜなのか、町長は同時刻川を見に行っていたのと、ホットラインを受けた職員が忙しさに忘れていたことによるものと判明、その時点で水位

は、まだそれほどでもなかった。しかし、18時頃から雨は激しく、電話も行き来も出来ない状態になった。

町長は、これまで、各地区からの情報やこれまでの経験から判断して避難勧告を出してきた。このことであつた。

ちなみに、他の市町村においては人的な被害はなかった。

そこで、町長にうかがいます。

一、気象台(庁)、警察、自衛隊、消防署、県などの機関との関係や連携はどのようになっているか。

町長

山形地方気象台

前からホットラインを構築しています。大規模災害時、要請により災害状況の把握や支援として、連絡調整員の派遣や備蓄物資の供給、防災ヘリの運用、自衛隊への災害派遣要請が

なされます。

質問

二、我が町の防災訓練が10月14日に実施されましたが、気象台との連携した訓練や講習会をすべきと思うがどのとうに考えていますか。

町長

今年度は、豪雨による浸水被害、土砂災害を想定した中で、適切な対応、行動につながる演習が行われました。今後とも気象台はじめ、関係機関の連携強化と訓練、演習を通して、危機管理担当者の災害対応能力の向上を目指します。

質問

三、先ごろ県庁にて、産業廃棄物

処理計画策定に向けての研修会が開かれたようですが、災害時に出ると思われる大量の産廃ごみを迅速に処理するための対処方について伺います。

町長

県の災害廃棄物処理計画をもとに、当面ある程度の対応が可能と考えています。今後、地域防災計画の廃棄物対策をより具体的なものとして検討していきます。

質問

四、山形県のあらゆる自治体において、洪水が発生し、国、県などの対応により10数億円をかけて排水ポンプを整備しましたが、その後にも洪水にみまわられています。被災者の心情を思うと想定外では済まされませんが、町長はどのようになっていますか。

町長

現在、大規模水害初期の内水被害軽減のため、最上川上



流大規模氾濫時の災害対策協議会を通して、市町村ごとに配水活動重点対策箇所や排水ポンプ車の配置の検討が行われており、今後、排水計画が具体的に策定され、体系的な対策が講じられます。

質問

五、大災害において、最近問題視されていることの一つに避難所等でのトイレがありますが、どのように対処するのか伺います。

総務課長

備蓄品倉庫に簡易トイレを準備しております。各種団体との災害協定で、本町の業者との間で仮設トイレの協力についての協定を結んでいます。

冬期間の水路利用者の受益者負担は

町長／町として補助金を交付しています



安食 幸治 議員

質問 土地改良区には、町から補助金が出ており、運営の協力に感謝しております。しかし、会員の高齢化、会員の減少で財政、維持活動は困難になっていきます。会員の方々が自分の田畑を守るために会費を納め、草刈等の活動をおこなっており、農繁期が終わり冬の時期、堰の水が町内の水路に流れます。冬に水路を利用するのは、会費を納めず草刈等の維持活動に参加しない私を含めた多くの町民です。冬場だけ側溝を使用するものとしては、少し心苦しい感じですが、改良区の会員で会費を

納め、維持活動に汗を流す方は別として、町民の中には、側溝の水量を増やせ。もつと水を流せ。という苦情が聞かれますが、冬場だけ側溝を利用する町民の利用者負担、受益者負担を考える必要な時期にきたのだと思えます。町は、土地改良区に補助金を出してありますが、冬期間2、3ヶ月位の増額、もしくは側溝を利用する各区に協力金の支払いをお願いし、除雪の雪片付けを効率良くするため水を多く流してもらおうようにしてみてもどうか。

町長 行政として指導の範囲だが、利用者から自発的に寄附として出てくるものか、土地改良区の定款になが、義務的に納めていただく制度にするのかは検討が必要。地域用水として利用してい



大江町土地改良区事務所

町長 記念行事のテーマは「共に喜び楽しみ歩む」わくわくどきどきが感じられ、町民一人一人が活き活きと活躍できる事業を考えています。特に若い方々の力が一つになつて、将来に町を繋いでいく視点が最も重要。既存

の実態もあるので、町として土地改良区に施設維持管理推進補助金318万4千円を交付しています。

町制施行60周年記念行事は 平成31年度は、大江町が誕生してから、60周年を迎えます。大江町民に対して、町としてどのような記念行事を考えているのか。

か。また、町を訪れる町外の観光客に対して、町内活性化となる事業を考えているのか、今の段階での草案があればお聞きします。

また来年は、近隣の市町でも「0」「5」の付く節目を迎えるところがありますが、広域連携となる観光客に対しての記念行事をおこなう考えはあるか。

のイベント、大会にも少し色付けできないか思案中。65、60という組み合わせで広域的な連携ができるかは今後、さまざまな模様を見ながら考えます。来年、重要な文化的景観の全国大会が町で開かれますが、地域に残っている秋祭りや披露する伝統文化を披露できないか。その時、温泉の行事を設定ができないか。そして、小中学生が参加する広範の形ができないか考えています。

議員のつぶやき
土地改良区の活動を
みなさんに
知ってもらいたいなあ



伊藤 慎一郎 議員

友好都市交流事業を前に進めては

町長／巨理町とは交流が深まっている 江差町とは検討していきたい

質問

平成30年はいろいろな災害があった年でありました。

西日本では、大雨による大災害、次々と押し寄せる台風、そして北海道の大地震多くの方が犠牲が出ました。

災害という災害が皆起きたような年でありました。そのようなことが起きると、私はいつも思うのですが、災害協力とかボランティアとかかすぐに対応できるかと言うことです。

私自身も、我町としてもその心構えはいつでも持つていなければと思うのであります。

大きな災害が起きますと、テレビ、マスク

ミ等で救援隊・救援物資・ボランティアなどと連日報道されます。

私たちはただ見ているだけでいいのか何か出来ることがないのかなと思うときがあります。北海道の大地震などは、農村地帯で起きたことなので、他人事ではないかと本当に思いました。

大江町でも75年前、昭和19年12月7日に直下型の大きな地震がありました。いわゆる左沢地震(荻野地震)です。

その時の被害は大きく酒屋さんの煙突はおれる、土蔵の破損、地割れは出る、山崩れも起きるなどの災害でした。もし以前のような

災害が起きたら全国に放映され、各地から救援隊・救援物資そしてボランティアなどが自然に集まってくるのではないかと思われるです。



統計調査員協会による 巨理町視察

しなければならぬと、業界との協力協定などが、申し合わせなどがあるのか伺います。

町長

友好都市に、宮城県の巨理町おきましては平成21年9月にえんころぶしと舟

那交流事業がありまして10年近くになりますその間東日本大震災などもありましてその間様々な付き合いがあり今では中学生の部活動や、女性集まり老人クラブあるいは議員の方々個人的にも付き合いがあり、かなり交流が深まっていると思います。

北海道の江差町につ

きましては最上川舟唄の原点は江差追分の中に含まれていると言ったところ、快く引き受けてくださったことから今後災害支援になるか、友好都市としていろいろなことも含めて検討したいと思っております。

ブルガリア国共交流がありましたが今はお付き合いがない状態が続いております。

災害が起きたときに各団体とどれだけの協力協定があるのかです21の団体と協定を締結しております。電力

に關しては東北電力、上水道に關しては日本水道協会山形県支部、平成15年7月に大江町管工事組合と、下水道に關しては大江町下水道工事組合と公共施設等燃料供給協定を大江町の石油ガス会と等々と協定を結んでおります。

平成31年度の予算編成の考え方は

町長／総合的なプランニングを行う



毛利登志浩 議員

質問 渡邊町長の3期の最終年度にあたる平成31年度の予算編成について、基本的な考え方を問う。

1 藤田工業団地の拡張は、今回、小堀製作所さんの意向もあり、約2haの用地買収、造成、分譲した。潤沢な財政運営の中で、土地開発基金も大きく伸びている現在、土地の先行取得を行い、企業誘致を積極的に進めるべきと考えるがどうか。

2 本町の高齢化率は、37.7%となっており、県内で9番目。また、一人暮らし高齢者は年々増加し349人。要支援、要介護者は、

合計で572人が認定を受けている。このような中であって、夫婦どちらが急に入院、宿泊を伴う外出などの際、対応できる施設が必要と考えるが、所見を問う。また、認知症高齢者の方々の把握、あるいは支援策はどのように考えているのか。

廃樹園地を町が主体となって再整備を行い、県を巻き込んで、モデル的に30aほどの区画を新規就農者の実証園として利用するという大胆な施策を講じてはと考えるが、どうか。

3 本町の観光施策について、各観光施設に足止めするような工夫、仕組みづくりが必要と感じている。最大の課題は、テルメ柏陵に簡易に宿泊できる施設を併設してしかるべきと考えるがどうか。

町長 1 藤田工業団地の先行取得については、町全体の課題、財政状況を判断し、総合的なプランニングを行い、推進したいと考えています。

4 耕作放棄された農地が年々増加の一途をたどっている。水田の基盤整備が完了した条件良い場所は、流動化が進んでいるが、樹園地の貸し借りの現状は、思うように進まず荒廃化が見られる。そこで、ある程度まとまった荒

2 高齢者福祉対策及び認知症者の把握は、町職員、社会福祉協議会、民生児童委員の連携のもとに対応していきます。

3 宿泊施設については、民間の起業に期待していますが、実現していません。柳川温泉、やまさあーべの魅力アップを促します。

4 荒廃農用地対策は、既存の補助金を活用しながら、担い手の確

保・育成に努めていきます。

史跡左沢楯山城の発掘状況と整備計画は

質問 史跡左沢楯山城は、平成21年度に国の史跡指定を受けた。これまでの発掘状況と、第1期整備計画の内容について聞きたい。また、町民全体への周知、小中学生に理解できるような説明手段、利活用の方向性など、次の項目について所見を問う。

で出土した遺物の展示が必要と考える。また、これらの説明手段について問う。

保存計画で示している今後5か年の発掘計画及び第6期までの発掘調査の基本方向について伺いたい。

警告 第1期整備計画は、平成29年度から4か年を予定しており、その後、寺屋敷付近まで整備し、周遊散歩コースの設置や寺屋敷の整備などを検討しています。

また、町民への周知は、広報誌などを通じてわかりやすく説明していきます。



平成30年10月28日におこなわれた現地説明会



宇津江 雅人 議員

平成31年度 町の諸行事の取り組みについて

町長／町民に喜んでいただける行事を計画していく

質問

平成31年度は、町制施行60周年記念行事や全国重要文化的景観地区連絡協議会の大会が計画されるほか、新天皇即位の式典、国、県、町の選挙が予定されている。

通年の諸行事に加え、多忙となる中、60周年記念行事や全国重要文化的景観地区大会の時期をどう考えるのか。

町長

国、県、町が関係する行事なので、国の方からわかった段階で、早めに調整し計画していきたい。

質問

60周年記念行事の内容については色々考えられるが、その一環として次のよう

な行事はどうか。

1 著名な講師による記念講演会

2 おおえ子ども議会開催

3 子どもたちによる記念植樹

4 小中学生の「おおえの未来について作文コンクール」

町長

記念講演会は、了した方の話を聞くことも大変興味があり、やってみたいことの一つである。また、お笑い芸人などをお招きすることも考えられるが、話を聞いて後世に役に立ったと言われるようなものにした。

子ども議会は全く同感であり、議会や教育委員会と協議したいと考えています。

記念植樹は、町有林への植樹なども考えられます。

作文コンクールについては、図書館も完成

したので、読後の感想をみんなの前で発表するのによいのではないかと思います。

予算編成を進めていく中で、提案のあった具体的な内容について検討していきます。



町制60周年を待つ町旗

おもてなしの心でお迎えする

質問

全国重要文化的景観地区大会について、次の件を伺う。

1 大会の時期は、比較的余裕のある新緑の6月から紅葉の11月頃はどうか

2 受け入れ態勢として、食はやまがた地鶏や青芋御膳の料理など、住は、町場の旅館のほか柳川温泉や、やまさあーべに宿泊していただくのはどうか

3 コーディネーターやパネリスト等に専門家の要請を

4 現地研修会のコース案内に、観光ボランティア会員の活用は

5 正調最上川舟唄の披露

整責

時期については、協議会の事務局である岐阜市と打ち合わせをしていきます。また、町の環境や食の特色をアピールできるように企画したい。

3、4については、大会の本質に関わる内容と感じています。

日程を通じて、おもてなしの心で参加され



平成30年度の平戸大会の様子

る方々をお迎えし、町の魅力を全国に発信していきたい。

議員のつぶやき

かあちゃんと呼び、左沢の最上川から丸太の筏に乗り、酒田に丁稚奉公したおしんも広報して欲しい。

スーパー公務員を育ててください!!

町長／若い職員に期待する



菊地 勝秀 議員

若い職員に期待する

質問

役場の若い職員が育ってきています。町長に期待することは、

スーパー公務員を育てる事です。新しい事に挑戦すること、出来ないようなことを出来るようになるのが本来我々が持っている能力であり力なのです。冬から春になり、夏

になりそして秋になるように、大自然の摂理と同等なのです。「今までの枠には未来がない」このことがわかるスーパー公務員を育ててください。

町長

若い職員の考えで、役場庁舎内の床等の改修工事をやっています。

それから、8つの村

と町の20代〜30代の若い職員による研修会を、やまさあーべで二泊二日で実施しました。空き家対策と、農地荒廃対策の2つのテーマで学習し、具体的な政策立案に役立っています。

さらに、若い職員の研修には積極的に参加していただいています。ただ、研修結果を、全体の前で発表し、全体のものとしていくことが今後の課題となっています。

これからは、町を愛する気持ちの高揚とアイデア等の研鑽を目的に、町職員にも町民にも、町内外、外国も含めて勉強できるようにすることを検討しています。

道の駅おおえの改修は

質問

これからは機能の充実が必要だ。再整備検討する時期に来ていると言っております。私たちの町には「思い

やり」という素晴らしい心が宿っております。そ

のようなテーマのもと、自然の流れのような建物や、健康や元気を伴うような道の駅を期待します。「感性に国境はありません」

町長

案内センターが手狭であるために、

物販スペースの確保及び団体客の受け入れが出来ないこと、また、駐車場の形状が課題であり、町と県による「一体型」道の駅再整備に向けた道路管理者との協議を進めながら、産直等道の駅おおえの強みを生かしつつ、機能の充実が図られようように検討していきます。

訪問介護は縮小か

質問

今年度から社会福祉協議会の組織機構を見直し、らふらんす大江に事業を移管し、介護予防の推進機関として役割を担っていくと言っている。かつて、訪問

介護、居宅介護支援事業は、素晴らしい成果があ

ったと記憶しております。実際、これに関しては縮小しているようですが。また、社会福祉協議会は災害時のボランティア受け入れ等を総括するところではないか。



らふらんす大江

町長

らふらんす大江からは介護に関する高い専門性を活かした訪問介護事業のさらなる推進を期待します。

社会福祉協議会からは、介護予防、高齢者のいきがいくりに加え、住民と行政の橋渡し、住民参加による地域福祉の推進、生活困窮者への支援などの充実を

図り、将来的には、災害ボランティアセンターの設置も含めて検討してまいります。

質問

西川、朝日、大江町、12月の議会で、

3町同時質問

月山を含む朝日山系の観光問題で同じ質問をします。やっと観光誘客を目指した3町連絡会が発足し「魅力を全国に」というように発信することになるようですが。

町長

10月17日に3町で朝日連峰振興連絡会が立ち上がりました。今のところ西川町の職員が会長となっていますが、今後、首長はじめ議員の方も含めた実働部隊が必要だと思っております。また、大

井沢トンネルまでの道路は、一車線半で良いとの声もあるが、今の、あの広さの道路でないと将来に禍根を残すと思うので妥協しないで頑張りたい。

発掘の進捗は

平成30年11月5日に総務文教常任委員会で、楯山城跡で行われている発掘現場の行政調査をおこないました。楯山城は、中世の山城であり、貴重な遺産として国の指定を受けており、今後数年をかけた発掘調査がおこなわれます。

現在の漆の成長は

産業厚生常任委員会主管の現地調査を平成30年11月5日におこない、軽井沢地区に平成9、10年度に植栽された漆の現状を調査した。材木地区、楯山地区にも植栽したが、軽井沢地区の漆の成長だけが良いということでした。1万2000㎡の面積に植栽された軽井沢地区の漆の木は、



楯山の遺跡発掘現場

下刈りされ、芸工大、岩手大学の先生や、森林研修センターの指導のもと、大江町産の漆で特産品を作り出すべく、成長してまいりました。また、深沢地区にある旧大江町立ひばり保育園の一部をリフォームして建設



軽井沢地区の漆植栽地

された農業共同作業所を見学。約900万円の予算で建設された施設は整備が整い、新規就農者だけではなく、一般の農家の方も利用料を払えば借りることができるようにしたいということでした。その後、深沢の焼野地区のリンゴ畑のイノシシの被害状況を農家の方より聞きました。

環境に貢献したい

平成30年11月5日マルハニチロ大江工場に議員全員が訪問し、バイオマス発電施設建設に係る事業の説明を受けました。

マルハニチログループでは、「持続可能な地域・社会づくりに貢献する企業グループ」へ成長していくための、食品廃棄物の削減、CO₂排出量の削減をグループ全体で取り組んでい



大江工場説明を受ける

るということです。バイオマスとは、再生可能な生物由来の有機性資源のことです。山形県マルハニチログループ、大江工場、白鷹工場、村山市にあるマルハニチロ山形から出る食品廃棄物を利用して、バイオガスを発生させ発電する施設を大江工場敷地内に来年度建設することを計画しています。2019年8月着工、2020年10月完成予定で2020年11月頃に試運転、稼働開始する予定になるとのことです。



バイオマス発電施設建設予定地

ちっちゃな村が頑張っている

平成30年10月30日に全議員で、富山県舟橋村に研修を行った。

人口が増えている

富山平野のほぼ中央に位置し、面積は3.47km²と全国で最も小さい自治体である。富山市中心部へ約15分でアクセスすることができ、ベクトタウンとして、若者世帯が増加している。

子どもが作る公園

村には芝生がきれいな広い公園があった。ほとんど利用されないのが、子ども公園部長を誕生させて、子供たちの公園作り、企画、資金調達、運営まで、人を巻き込みながら作る。穴を掘ったり、畑とか「まるたんぼ」遊具づくりなど、子



併設されている駅と図書館

供が作った公園には、子供が集まる。

民間企業の主導

社会の課題の解決は公共側にて仕様が確定しえないことから、大胆に民間の提案に委ね、伴奏してくれる民間パートナーとして、大手ハウスメーカーと地元のハウ

スメーカーが住宅団地造成を行っている。

スーパー公務員がいた

私たちに説明してくれた職員の方は、型破りを外に人脈を広げ地域が元気になるようにプロデュースする「スーパー公務員」だった。「前例主義でなく、いかに柔軟に対応することが出来るかが、村と、住民のためになることです」と話していた。

私達の感想

○与えられるサービスでなく、かわる楽しさで子供たちが作った公園だから、みんな集まるし、この公園があるから、ここに移住したという子育て世代も多く、住民を巻



き込んだ政策に、本町も見習うべきだと感じた。

○大江町でも、子育てには頑張っているが、人を呼び込むまではいっていない、舟橋村の職員のように、頭を柔軟にして取り組まなければならないと感じた。

平成30年度町村議会議員研修会が、山形市の山形国際交流プラザで平成30年10月16日、県内全ての町村議員を集めおこなわれました。

限界集落の真実

首都大学東京准教授の山下祐介氏を講師に迎えた研修は、青森県鯉ヶ沢町深谷地区活性化委員会の取組みを事例に、深谷地区に以前住んでいた方にアンケートを実施した結果、帰ってきたい人がいることを確認、モニターツアーを実施した結果、結婚、出産、流入人口があったという。集落の出身者、家族を見直すこと。自立から一方的ではない依存、そして共依存が大切。地方分権と自治、共同、協働が必要。そして実現させるために、地方自治

が不可欠ということ学びました。

フジテレビ報道局上席解説委員の平井文夫氏を講師に迎えた研修は、東京都知事選、自民党総裁選、その後におこなわれた内閣改造、平成31年夏の衆院選、その後10月から引き上げられる消費税の話。憲法改正、アメリカのトランプ大統領と貿易の話。次期内閣総理大臣には誰が。報道局の上席解説員という役職で当事者の方々から直接聞いた話を交えながら普段では聞けない講演会となりました。

どうなる？政治、経済の展望

フジテレビ報道局上

大江、朝日町の共通課題は

平成30年度大江・朝日両町議会議員協議会総会が、平成30年10月1日に朝日自然観にて開催されました。総会に先立ち、主要地方道大江西川線の貫見工区（3号橋・琴ノ沢橋）の進捗状況を視察し県の技術主幹から説明を受けました。その後、

両町の観光資源となりうる、大規模林道と林道伏辺山線のビューポイントを現地視察し、白鷹朝日・大江広域観光推進協議会が製作したビデオ「山形夏のおもてなし！白鷹朝日大江ふれあい旅」を鑑賞しました。

総会では、総会前に



主要地方道大江西川線貫見工区の視察

現地視察した大江町古寺から朝日町朝日自然観までの「林道伏辺山線」「林道ブナ峠線」を観光道路として整備できないものか、今後も継続して協議していくこととしました。また、一般県道中山三郷寒河江線と一

般県道左沢浮島線の道路整備については、継続して関係機関に要望していくこととし、松田敏男県議会議員には席上要望書を提出しました。加えて、最近両町で多くなっているイノシシ被害など「鳥獣被害」の状況について両町から説明を受け、その対策についても協議しました。



要望書の提出

大江、西川 三山信仰、道智道を学ぶ

平成30年度大江・西川両町議会議員協議会総会が、平成30年11月9日に当番の西川町「出羽屋」にて開催されました。総会に先立ち、両町に昔から関わりの深い「湯殿山信仰と道智通り」との演題で、寒河江市史編纂委員・文化財保護委員で西川町郷土史調査委員も勤めた那須恒吉氏が

ら講演をいただきました。

総会では、両町の共通課題である「主要地方道大江西川線」道路改良の促進を大江町が提案、「主要地方道貫見間沢線」の整備促進を西川町が提案。また、最近、出没数が増え被害の多いイノシシ・熊等の鳥獣被害について協議しました。道路改良の問題は、総会に出席された松田敏男県議会議員に要望書を手渡しました。両町の議長が後日、関事ならびに県の関係機関に要望書を提出することになりました。



那須 恒吉氏

◆道智道とは、出羽三山参詣が盛ん

であった頃に、白鷹町から大井沢の大日寺へ至る行者道で、難儀な道であったため大日寺の道智上人が参詣者のために自ら改修したと言われています。現在の白鷹町と朝日町木川とぶな峠と大江町古寺と西川町大井沢に至るルートと推測されています。



かつて信仰を集めた岩根沢の湯殿山神社

150号までのあゆみ



松田 敏男氏

広報「おおえ」議会だより150号誠にありがとうございます。私も初当選以来、8年間編集委員として携わりました。町民の皆様がいかにかかりやすく、一目見ただけで読んでみたい。議会の審議内容がわかりやすい。そして何と言っても議会だよりの顔とも言える表紙の写真を4人の委員が順番に撮影する担当にしたのも印象に残っています。他の町に追いつけ、追いこせの気持ちで県内での優秀賞受賞が思い出されます。議会だよりは議会の歴史を語る貴重な資料です。今後も町民の心に届く議会だよりでありますようにご祈念申し上げます。



結城 岩太郎氏

当時は議会だより編集特別委員会でした。

広報委員は4名で内3名が未経験者であり、ワープロでの編集作業で行ってきました。議会だよりは「住民と議会のパイプ役」として議会の諸活動について、分り易く情報提供するために要点を的確に、かつ簡潔にまとめること。写真は人物で季節感と人間らしさを表し、華やかさや活気あるもの、また、町の自然も多く取り入れ、町民の皆様にあふれるような心がけて編集してきました。当時の出来事としては、平成の大合併の推進、飛び地解消問題、経常経費削減のため14課を7課に改革、収入役を置かず助役が兼掌した時代でした。



昭和49年11月27日発行の第11号



昭和47年5月15日発行の第1号



今井 茂樹氏

『議会だより150号』発行お疲れ様でした。

私が議会だより編集特別委員会委員長を務めたのは、平成17年から2年間でしたが、18年10月には、100号発行に携わることが出来ました。

100号を手にとつて、当時を思い返すと、読者である町民の皆様を惹きつける見出しや、簡素な文章、内容が分かりやすい写真の使用等に、意を注いだように思います。行政が発行する広報と議会だよりは、切り口が違うのが当然です。議会だよりらしい『議会だよりおおえ』発行に期待します。



古城 紀夫氏

議会だより「おおえ」発行150号を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。

私も在職中に述べ10年間、編集委員として編集に携わってきました。年4回の議会定例会が行われ、議会終了後ただちに編集委員会をもって役割分担をし、記事の依頼などを行いながら、より良い「議会だより」が出来上がったときには大変嬉しく思います。先進地への視察研修などを積み重ね町民各位に愛読されるような紙面づくりを心掛けて来ました。これからも現職で活躍されている議会広報常任委員会のさらなる発展をご期待いたします、私の想いの一端を申し上げます。

掲載は委員長歴任順



100号
(平成18年10月発行)



第62号
(平成10年4月発行)



復刊第1号
(昭和55年7月発行)



第50号
(平成6年1月発行)

議会だより150号記念

平成29年9月の構成替えにより、2年ぶりに広報常任委員会にもどってきました。広報を離れていた2年の間に、広報常任委員会はびっくりするほど進歩していて、編集作業の効率化がなされています。先輩方のおかげと心より感謝しております。以前は、発行するため委員会を週一で開催しており編集が終わるまで約1ヶ月半かかりました。色々な研修会に参加し、町民の皆さまに喜んで読んでもらえるように日々研鑽を重ね、少しずつ進歩して行きたいと思えます。これからも「議会だよりおおえ」を楽しみにしていただきたいと思います。

議会広報常任委員会
委員長 安食 幸治

この度の議会だより
 おおえ150号の記念
 発行を迎えるにあたり、
 議会広報常任委員会は、
 昨年10月10日、東京都
 で開かれた全国45都道
 府県から205議会の
 広報委員が受講する町
 村議会広報研修会に、
 大江町議会として始め
 て参加してきました。
 文章の書き方を朝日新
 聞メディアアプロダク
 ション校閲事業部長の
 前田安正氏。デザイン
 関係をアートディレク
 ターの筒井美希氏。昨
 年度全国最優秀賞と第
 2位の議会広報紙を手
 本にグラフィックデザ
 イナーの長岡光弘氏を
 編集の講師に迎え研修
 してきました。読む方
 の気持ちになり、わか
 りやすい文と文章を定
 義として、主語と述語
 をしっかりと対応させ、



つなぎの文、読点の打
 ち方を考慮する大切さ。
 レイアウトの基本であ
 る紙面の強弱、整列、
 接近、反復の重要性。
 最優秀賞作品に見る編
 集の中身の大切さを研
 修し、議会だよりの作
 成、編集作業に生かし、
 工夫をこらして迅速で、
 わかりやすく、読みや
 すい議会だよりを町民
 の皆さまにお届けして
 いきたいと思えます。

私たちが議会だよりを編集しています



編集◆後◆記

昭和55年から年4回、
 議会広報を発行して、こ
 の度150号を迎えるこ
 とができました。これは
 まさしく先人の努力、町
 民に議会の活動を知って
 見てもらうために発行し
 てきました。

これからも、二元代表
 制を認識し、議会の活動
 として、町民に正しく、
 速く広報しなければと思
 います。

行政と議会は車の両輪
 のごとくと言われます。
 5月からは元号も変わる
 ようであります。新たな
 気持ちで気を引き締めて
 いきたいと思えます。

伊藤慎一郎

【発行責任者】

◆議長 小野 祐一

◆大江町議会広報常任委員会

◆委員長 安食 幸治

◆副委員長 関野 幸一

◆委員 菊地 勝秀

◆委員 伊藤慎一郎